

平成31年3月28日

平成30年度 一年間の振り返り（施設の自己評価結果報告書）

幼保連携型認定こども園
八田荘第二こども園

◆園全体◆

- ・園舎南側のバルコニー部分の増改築工事を行ったことで、3～5歳児クラスの保育室が広くなり、日頃の教育・保育がゆったりと展開できるようになった。
- ・研修に多くの職員が参加できたが、それらを会議等で他の職員に伝達する事が困難であった。来期は時間を設け、研修内容について話し合い研鑽を重ねていきたい。
- ・秋に雨天・台風が多発し、運動会延期が続いた。来期は雨天時、隣接の小学校体育館を使用できるようにする。

◆各クラス◆

《0歳児》

- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）を早期発見する為に、今まで同様、5分毎の睡眠チェックと従来から使用しているベビーセンス（乳幼児呼吸モニター）の活用を行い、安全に努めた。

《1歳児》

- ・発語に向け、絵カードを使う等応答的な関わりを多くもつ事で「話したい」という意欲につながられた。

《2歳児》

- ・個々の排泄の間隔を把握する事で、無理なく排泄の完了ができた。
- ・朝夕合同保育室としても使用しているひまわり組の玩具を来期に向け充実を図りたい。

《3歳児》

- ・防災頭巾を個人持ちにする事で、避難時に自分でロッカーから取り出しスムーズに避難できた。

《4歳児》

- ・保育室の増改築工事により、遊びが充実し、ごっこ遊び等に発展が見られた。

《5歳児》

- ・就学に向け、時計を見ながら行動の予測をし、日々の生活を自ら考え行動できるようになった。
- ・自分の気持ちや経験して思ったことを伝えられるよう、様々な場を作る事で、自信を持って皆の前で発言できるようになった。